

## フォームの記載要領

テキストフォームの記載要領です。赤字の説明を参考に記載してください。

照会日 照会書を送信する日付を記入してください。

照会者の氏名 照会者の氏名を記入してください。

住所 照会者の住所を記入してください。

連絡先電話番号 電話番号・FAX番号を記入してください。

連絡先メールアドレス 返信先のメールアドレスを記入してください。

輸出入者符号 登録された輸出入者コードがある場合はそのコードを記入してください。

貨物の主な品名 照会する取引に係る貨物の主な品名を記入してください。

輸入予定官署 照会する貨物の輸入申告等が予定されている税関の官署名を記入してください。

照会事項（対象のものに下線を引いて下さい。）

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| イ. 現実支払価格     | ロ. 輸入港までの運賃等     |
| ハ. 仲介料その他の手数料 | ニ. 容器・包装の費用      |
| ホ. 材料・部品等の費用  | ヘ. 工具・鋳型等の費用     |
| ト. 消費物品の費用    | チ. 役務（技術、設計等）の費用 |
| リ. ロイヤルティ等    | ヌ. 売手に帰属する収益     |
| ル. 控除すべき費用等   | ヲ. その他（ ）        |

---

具体的な取引内容の説明（取引の当事者及び取引に関する事実関係）及び  
本照会内容についての関税評価に関する見解（見解がある場合）

照会する取引における具体的な内容説明、取引当事者間の権利・義務関係など、課税価格の決定において必要と考えられる事実関係、その他参考となる事項を可能な限り具体的かつ詳細に記載する。

また、照会者が照会する取引等について意見があれば、その内容を理由を含めて記載してください。

※重要

照会内容の説明はできるだけ具体的に記入してください。

説明が不足しますと、回答できないばかりか、正しい回答ができなくなります。

---

=====

本照会は下記のいずれにも該当しないことを確認しました。

- ① 仮定の事実関係に基づく取引等に係る照会である
- ② 具体的な取引内容が確定していない
- ③ 判断に必要な取引内容の説明及び資料提出をすることができない
- ④ 関税等の軽減を主要な目的とする取引等に係る照会である
- ⑤ 照会に係る取引等の同様の事案について、事後調査中、不服申立て又は訴訟中である等、関税評価上の取扱いに関し紛争中である
- ⑥ 照会に係る取引等について、関係者間で紛争中又は紛争のおそれが極めて高い
- ⑦ 貨物の輸入者、その委任を受けた通関業者又は当該貨物の輸入取引を概ね把握している利害関係者以外による照会である

---

確認 はい いいえ 上記①～⑦の該当の有無を記入してください。

---

（※）記載頂いた取引内容について税関から追加の説明や資料提出をお願いする場合があります。